

第5次大村市総合計画策定 市民会議 提言書

平成27年2月

第5次大村市総合計画策定 市民会議

目 次

はじめに	1
------------	---

第5次大村市総合計画策定にあたっての提案

(1)安心の暮らしと人づくりグループからの提案	2
(2)まちの魅力づくりグループからの提案	6
(3)安全快適なまちづくりグループからの提案	11

《参考資料》

(1)「市民会議」会員名簿	15
(2)策定のながれ	16
(3)「市民会議」の開催概要	17

はじめに

第5次大村市総合計画策定市民会議（以下、市民会議）は、平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とする「第5次大村市総合計画」の策定にあたり、10年後の大村市の目指す姿について、市長に提言するために設置された会議です。

市民会議は公募により選ばれた男性10人、女性9人の合計19人で構成され、年齢層も20代から70代と幅広く、老若男女全ての意見を盛り込むことができたと自負しております。

提言にあたり、「安心の暮らしと人づくり（保健・福祉・子育て・教育・人権・生きがい など）」、「まちの魅力づくり（観光・文化芸術・自然・環境対策・産業・企業誘致・市民参画 など）」、「安全快適なまちづくり（防災・安全・街・道路・交通 など）」の3つの分野に分かれ、グループごとにまちづくりの課題とそれに対する解決・改善策のアイデアを話し合いました。

これからの市政運営においては、市民協働によるまちづくりを推進することが望まれています。そこで、提言書の中に、「市に特に力を入れて欲しい取組み」の他に「市民が取り組むこと」についても、記載しております。

私たち一人ひとりが、家庭や地域などそれぞれの活動の場において、まちづくりに参画するきっかけになればと考えております。日常生活の中の何気ない活動もまちづくりにつながっていると感じ、実践していくことができれば、まさに大村市民が一体となって取り組むまちづくりが実現するのではないのでしょうか。

最後に、この提言内容を十分検討していただき、一つでも多くの事項が実現していくことを願っています。

第5次大村市総合計画策定市民会議

人が集まり、安心して元気に暮らせるまちをつくらう

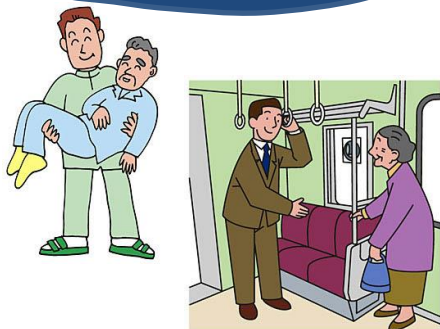
(分野:保健、福祉、子育て、教育、人権、生きがい)

《提案のねらい》

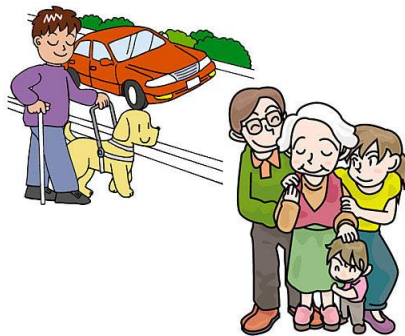
安心の暮らしと人づくりグループでは、人が集まり、安心して元気に暮らせるまちをつくることを目的とした5つのまちづくりのテーマをまとめました。具体的には、「みんなが仲良く助け合えるまちづくり」、「高齢者・障害者が暮らしやすいまちづくり」、「安心して育児ができるまちづくり」、「たくさんの人が集まるまちづくり」、「安心して健康に暮らせるまちづくり」にわけて提案しています。

《提案の全体像》

みんなが仲良く
助け合えるまちづくり



高齢者・障害者が
暮らしやすいまちづくり



安心して育児が
できるまちづくり



たくさんの人が
集まるまちづくり



安心して健康
に暮らせるまちづくり



安心の暮らしと人づくりグループからの提案

《提案の内容》

1 みんなが仲良く 助け合えるまちづくり

「みんなが仲良く助け合えるまちづくり」では、出会いのための環境整備、助け合いのための理解促進について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

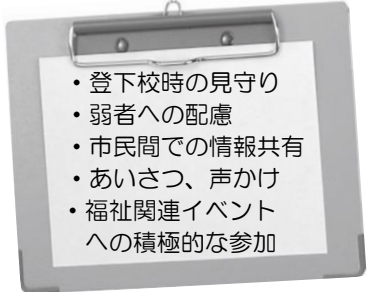
みんなで取り組もう！

テーマ1 助け合える 場所づくり

- 皆が気軽に集える場をつくる
みんなで助け合うには、助けを求めている人と手を差し伸べてあげられる人が出会う場が必要です。
- 高齢者と子ども達がふれあえるための環境整備
高齢者施設と保育施設の融合などの取組みが必要です。

テーマ2 助け合える 人づくり

- 学校等での福祉教育の推進
(例：看護学生等による出前講座や体験活動の実施など)
- 介護・育児サポーターの育成
介護や育児など、支援するための仕組みづくりが必要です。

- 
- 登下校時の見守り
 - 弱者への配慮
 - 市民間での情報共有
 - あいさつ、声かけ
 - 福祉関連イベントへの積極的な参加

《提案の内容》

2 高齢者・障害者が 暮らしやすいまちづくり

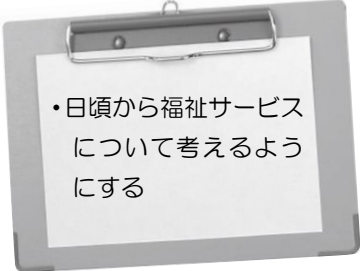
「高齢者・障害者が暮らしやすいまちづくり」では、福祉サービスの効果的な情報提供や共有について、高齢者・障害者の雇用や雇用・活躍の場の創出について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！


テーマ1 福祉サービスの 情報提供 と共有

- 相談窓口の一本化やコーディネーターの配置
どこに相談したらいいか、誰に相談したらいいかという課題を解決することが必要です。
- 事業者間の情報交換体制の整備
高齢者福祉と障害者福祉分野間の情報共有などが必要です。

- 
- 日頃から福祉サービスについて考えるようにする

テーマ2 雇用・活躍 の場の創出

- 障害等の特性に合わせた職業訓練や紹介
- シルバー人材センターの機能の強化
雇用の場を創出するための取組み強化が必要です。
- 社会参画の支援
知識や経験を社会に活かすための仕組みづくりが必要です。
- 交流会の開催（高齢者合コンなど）

- 
- 受入側の理解促進

安心の暮らしと人づくりグループからの提案

《提案の内容》

3 安心して育児ができるまちづくり

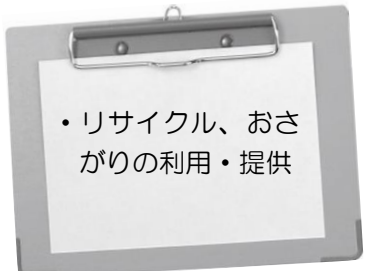
「安心して育児ができるまちづくり」では、育児にかかる経済的負担の軽減、育児と仕事の両立について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

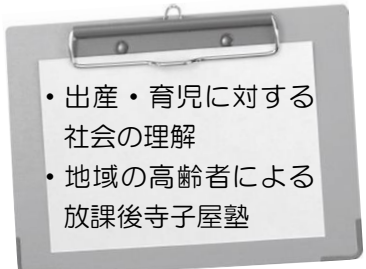
テーマ1 経済的負担の 軽減

- 第2子保育料無料化の継続
- 多子世帯へのインセンティブ
安心して育児をするためには、特に経済的負担が大きい多子世帯への支援が必要です。（経済的支援や税制上の優遇措置など）

- 
- リサイクル、おさ
がりの利用・提供

テーマ2 育児と仕事の 両立のための 支援

- 延長保育の強化や病時保育施設の拡大
安心して仕事ができる保育体制の強化が必要です。
- 多様で柔軟な働き方の理解と推進
雇用者側の柔軟な対応が必要です。（フレックスタイム導入等）

- 
- 出産・育児に対する
社会の理解
 - 地域の高齢者による
放課後寺子屋塾

《提案の内容》

4 たくさんの方が 集まるまちづくり

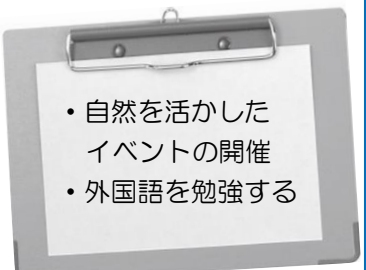
「たくさんの方が集まるまちづくり」では、市民や観光客が集まる場所づくりや、企業や大学が集まり、人も集まるような研究学園都市について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1 みんなが 集まる場所 づくり

- 自然を活かしたアクティビティの整備
市民や観光客が楽しめる自然公園等が必要です。
- 外国人観光客を呼び込む環境整備
（看板等の多言語化など）
- 移住者向け体験施設（民泊施設や長期滞在施設での田舎暮らしなど）の整備
移住までのハードルを下げるために、体験的に滞在できるような施設や仕掛けが必要です。

- 
- 自然を活かした
イベントの開催
 - 外国語を勉強する

安心の暮らしと人づくりグループからの提案

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ2
企業や大学が
集まる研究
学園都市を
つくる

- 大学（医学部）、研究所の誘致
長崎医療センターを核とし、特に医療系企業や大学等を誘致するための取組みが必要です。
- 誘致企業への税制等の優遇措置
- 誘致大学や研究所への進学促進
誘致した大学等への進学や就職ができるような取組みを行い、人口流出を防ぐことが必要です。

《提案の内容》

5 安心して健康
に暮らせるまちづくり

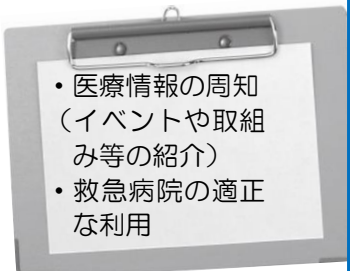
「安心して健康に暮らせるまちづくり」では、救急体制や医療機関同士の連携について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1
医療体制の
充実

- 救急車の台数を増やす（適正台数の配置）
救急車の台数に余裕がないため、混雑時にも短時間で到着できるような体制整備が必要です。
- 医療機関同士のネットワークの構築による情報連携の強化
病院を移っても、スムーズな治療が行えるような情報連携ができる仕組みづくりが必要です。
- 医療技術の向上や能力開発の機会をつくる

- 
- 医療情報の周知（イベントや取組み等の紹介）
 - 救急病院の適正な利用

大村の魅力を活かし、にぎわいのあるまちをつくらう

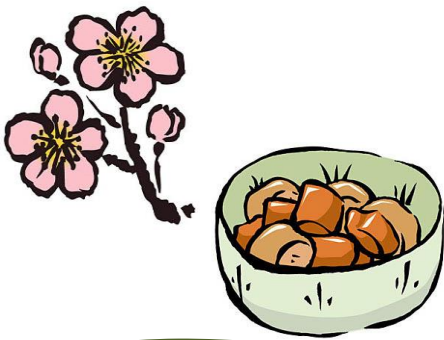
(分野:観光、文化芸術、自然、環境対策、産業、企業誘致、市民参画)

《提案のねらい》

まちの魅力づくりグループでは、大村の魅力を活かし、にぎわいのあるまちをつくることを目的とした5つのまちづくりのテーマをまとめました。具体的には、「“大村らしさ”を活かしたまちづくり」、「市民がつくる観光のまちづくり」、「多様な世代の集う商店街があるまちづくり」、「若者が仕事にやりがいを感じるまちづくり」、「景観を活かしたまちづくり」にわけて提案しています。

《提案の全体像》

“大村らしさ”を
活かしたまちづくり



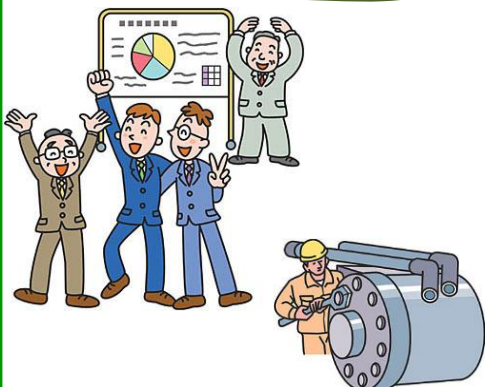
市民がつくる観光の
まちづくり



多様な世代の集う商店街
があるまちづくり



若者が仕事にやりがい
を感じるまちづくり



景観を活かした
まちづくり



まちの魅力づくりグループからの提案

《提案の内容》


- 1 “大村らしさ”を活かしたまちづくり
- 「“大村らしさ”を活かしたまちづくり」では、大村市の食づくりや周辺地域の魅力づくり、魅力あるイベントの開催について提案しています。

《特に力を入れてほしい取り組み》

みんなで取り組もう！


テーマ1 魅力ある イベントの開催 と参加

- 自然や花をテーマにしたイベントの開催
大村の魅力である、自然や花をテーマにしたイベント（フラワーアレンジメント、ガーデニング、イラスト）による魅力発信が必要です。
- 森園公園・臼島の活用
大村を代表する森園公園や臼島などを活用したイベントを行い魅力を発信する必要があります。
- 参加意識の向上のための取り組み
幅広い世代・多くの人に来てもらうためには、イベントやボランティア等の参加に応じてポイントがもらえる「市民ポイント制度」の導入などの工夫が必要です。

- 
- イベントの開催
 - イベントへの参加

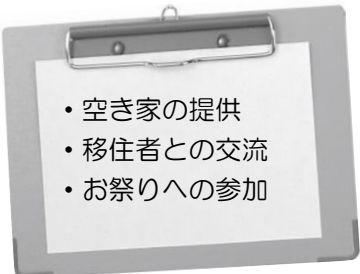
テーマ2 大村でしか 味わえない 食づくり

- 特産品の開発（ピーナッツ、果物、水などを活用）
地域資源を有効的に活用し、大村らしいブランド品を開発することが必要です。
- 創作料理コンテストの開催
- 郷土料理の継承
大村寿司やにごみなど、地域の伝統的な食文化を次世代へ伝えていくことが必要です。

- 
- みんなで口コミやSNSでPR
 - 郷土料理教室に参加

テーマ3 周辺地域の 魅力づくり

- 空き家を活用した田舎暮らしや山村留学ができる環境整備
豊かな自然や空家を活用した、“暮らし”の提案ができる環境整備が必要です。
- 各地区のお祭りの活性化・PR
地域の伝統や魅力について、積極的に情報発信していくことが必要です。

- 
- 空き家の提供
 - 移住者との交流
 - お祭りへの参加

まちの魅力づくりグループからの提案

《提案の内容》

2

市民がつくる観光の
まちづくり

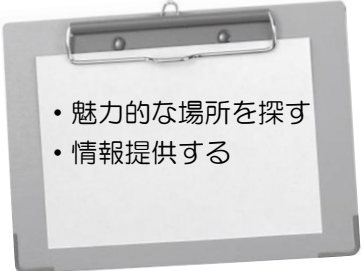
「市民がつくる観光のまちづくり」では、観光資源の掘り起しや情報発信の強化について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

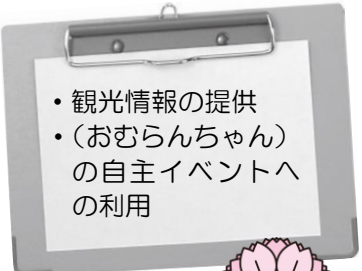
テーマ1
観光資源の
掘り起し

- 地域別の魅力の掘り起し
まだ私たちが知らない、気付いていない、まちの新たな魅力を見つける必要があります。
- 大村景観 100 選などの選定
- 観光ルートの開発
さまざまな観光客のニーズに対応でき、大村の魅力を満喫できる観光ルートの開発が必要です。

- 
- 魅力的な場所を探す
 - 情報提供する

テーマ2
情報発信の
強化

- 市民発信の観光情報アプリの開発
市民ならではの情報を発信できるツールが必要です。
- おむらんちゃんの有効活用
- 市民の理解促進
市民が大村の魅力を発信するためには、今よりも大村についての理解を深めていく必要があります。

- 
- 観光情報の提供
 - (おむらんちゃん)の自主イベントへの利用



《提案の内容》

3

多様な世代の集う商店街
があるまちづくり

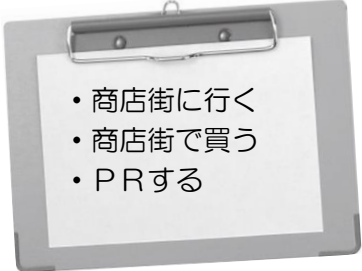
「多様な世代の集う商店街があるまちづくり」では、若者が集える工夫や集客のための取組みについて提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1
若者が集まる
場所づくり

- 高校生によるレストラン・雑貨店等のお店を開く
高校生のアイデアを活用した、若者が集まる仕組みづくりが必要です。また、若いころから商店街への親しみを持ってもらう必要があります。
- 商店街の2階などの空きスペースの有効活用

- 
- 商店街に行く
 - 商店街で買う
 - PRする

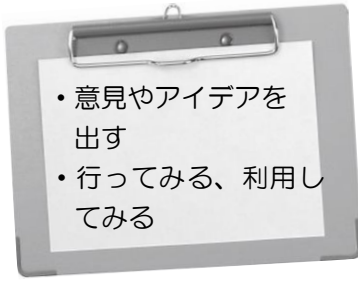
まちの魅力づくりグループからの提案

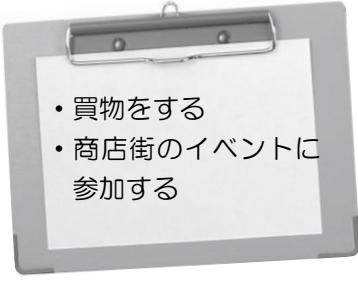
《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ2 集客による 商店街の活性化

- 人が集まれる空間づくり（シンボルツリー広場）
市民が気軽に待ち合わせの場所や休憩の場所として利用できるような空間づくりが必要です。
- 利用しやすい駐車場や歩道の整備
安全快適に利用できる駐車場や歩道の整備が必要です。
- 下宿ストリート、シェアハウスなどの宿泊施設の充実
- 商店街の雰囲気作り
地元住民や観光客を呼び込める雰囲気作りが必要です。
- 商店街の一体的な取組
共同でイベントを開催するなど、商店街の連携をはかる取組みが必要です。

- 
- 意見やアイデアを出す
 - 行ってみる、利用してみる

- 
- 買物をする
 - 商店街のイベントに参加する

《提案の内容》

4

若者が仕事にやりがいを感じるまちづくり

「若者が仕事にやりがいを感じるまちづくり」では、若者の雇用の場の拡大、人材の育成についての取組みについて提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1 雇用の場を 広げる

- 正社員での雇用の拡大
安心して働ける雇用の場の拡大、正社員登用につながるようなキャリアアップ制度の充実等の仕組みづくりが必要です。
- 起業支援
未来を担う若手起業家へのサポートが必要です。

テーマ2 人材の育成

- 労働意欲を高める取組み
働くことの喜びや意義についての教育、労働意欲を高めるための取組みが必要です。
- 資格取得など、専門的な技術を習得する場の充実

- 
- 家庭での教育

まちの魅力づくりグループからの提案

≪提案の内容≫

5

景観を活かした
まちづくり

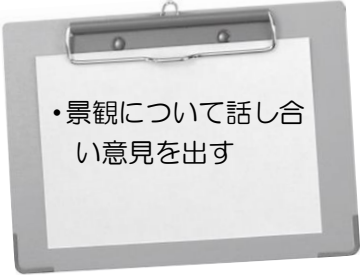
「景観を活かしたまちづくり」では、街並みの整備や景観の維持
についての取組みについて提案しています。

≪特に力を入れてほしい取組み≫

みんなで取り組もう！

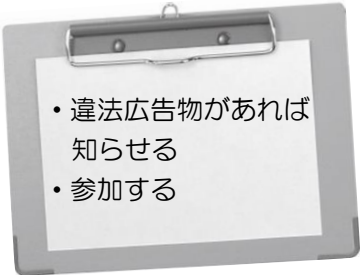
テーマ1
街並みを整える

- 都市計画の見直し（規制・誘導）
- 景観モデル地区の設定
上小路周辺地区のような景観形成を、他地区でも進
めていく必要があります。
- 固定資産税の減免等による誘導
景観形成の取組みを実現させるために、規制やモデ
ル地区の設定、税制面でのサポートなどが必要です。

- 
- 景観について話し合
い意見を出す

テーマ2
景観の維持

- 広告規制の強化
まちの景観を損なうおそれのある広告物に対する規制
強化が必要です。
- 市民協働による公園や花壇の環境整備
市民と行政が一体となって、美化活動に取り組むこと
が必要です。また、市民レベルでの取組みを支援する
仕組みが必要です。

- 
- 違法広告物があれば
知らせる
 - 参加する

地域がつながり、安全で快適に 過ごせるまちをつくらう

(分野:防災、安全、街、道路、交通)

《提案のねらい》

安全快適なまちづくりグループでは、地域がつながり、安全で快適に過ごせるまちをつくることを目的とした3つのまちづくりのテーマをまとめました。具体的には、「災害に強く犯罪の少ないまちづくり」、「景観と安全が調和したまちづくり」「交通の利便性が向上したまちづくり」にわけて提案しています。

《提案の全体像》

災害に強く犯罪の
少ないまちづくり



景観と安全が調和した
まちづくり



交通の利便性が向上した
まちづくり



安全快適なまちづくりグループからの提案

《提案の内容》

1

災害に強く犯罪の少ないまちづくり

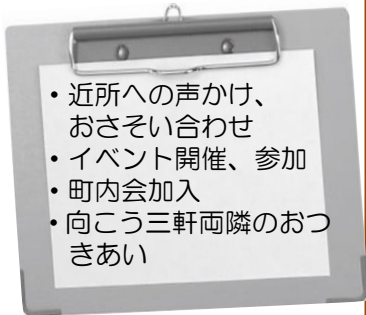
「災害に強く犯罪の少ないまちづくり」では、地域コミュニティの醸成、防犯対策、情報発信・情報共有について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

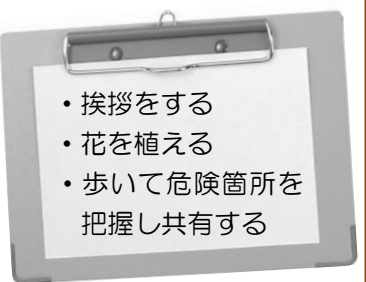
テーマ1 地域コミュニティの醸成

- 地域交流を進め、繋がりを深める
災害時の避難や防犯のためには、地域の人々の繋がりが重要であり、日頃から交流や様々な活動を行っている状態であることが重要です。
- 地域のイベントや活動の強化
- 防災訓練等への参加や、災害時に皆で支え合う意識の醸成
災害時の迅速な対応のためには、日頃からの訓練や参加を促す仕掛けづくり（ポイント制度等）が必要です。

- 
- 近所への声かけ、おさそい合わせ
 - イベント開催、参加
 - 町内会加入
 - 向こう三軒両隣のおつきあい

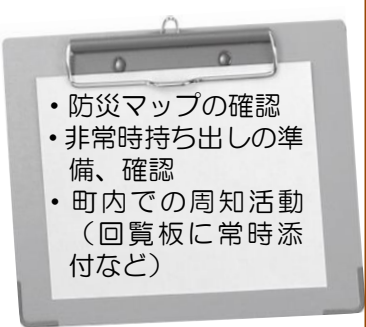
テーマ2 防犯対策

- 空家の解消、空家バンクシステムの導入
空家の増加は犯罪の増加につながることから、空家の把握・解消に向けての取組みが必要です。
- 路地裏への街灯の設置
- 花いっぱい運動
防犯のためには、暗い場所を減らしたり、花を植えることが効果的であり、推進する必要があります。

- 
- 挨拶をする
 - 花を植える
 - 歩いて危険箇所を把握し共有する

テーマ3 避難場所や危険箇所等の情報発信・情報共有

- 市のホームページの充実（防災マップ等）
- 危険箇所を簡単に知ることができるシステムづくり
防災マップ等災害に関する情報を日頃より簡単に閲覧できたり、配布したりすることが必要です。
- 災害情報を一元管理できる体制の構築
- 情報伝達体制、方法の工夫
災害時に迅速に対応するためには、情報の収集や伝達方法を確立し、個々に正確に伝えることが必要です。
- 学校や地域一体となった防災訓練の実施
学校や職場単位よりも地域単位で訓練を行うことでより効果があがると考えます。

- 
- 防災マップの確認
 - 非常時持ち出しの準備、確認
 - 町内での周知活動（回覧板に常時添付など）

安全快適なまちづくりグループからの提案

《提案の内容》

2

景観と安全が調和したまちづくり

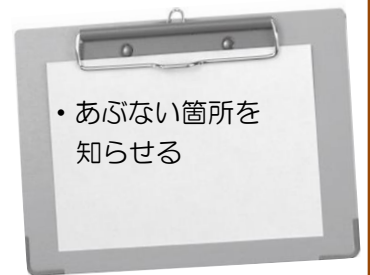
「景観と安全が調和したまちづくり」では、景観と安全の調和を図るための取組みについて提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

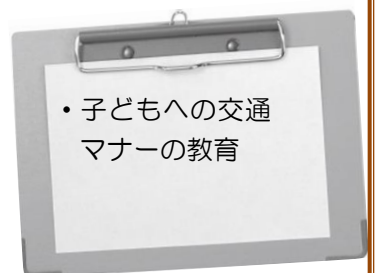
テーマ1 道路や歩道の 景観と安全との調和

- 視認性に考慮した植栽の配置や樹木の選定
- 剪定の必要がない樹木への植え替え（広葉樹）
歩道の植栽で、運転の邪魔になる場所に設置してあったり、枝が伸びて邪魔になっていることがあるので、設置や樹木の選定には配慮が必要です。なお、剪定の際には、イチョウ等紅葉の綺麗な時期には剪定しないなど、景観への配慮も必要です。
- 複合する道路工事の合同実施
経費削減や車の安全のために、更なる配慮が必要です。



テーマ2 歩行者と 自転車との 調和

- 歩道と自転車道を分けられた道路整備
歩行者道の安全確保のため、歩道を歩行者と自転車が通るエリアに分ける等の対策が必要です。特に通学路での早急な対策が必要です。
- 自転車の安全講習の実施や啓発活動
歩行者の安全確保のため、自転車の運転マナーを向上させる取組みが必要です。



安全快適なまちづくりグループからの提案

《提案の内容》

3

交通の利便性が向上した
まちづくり

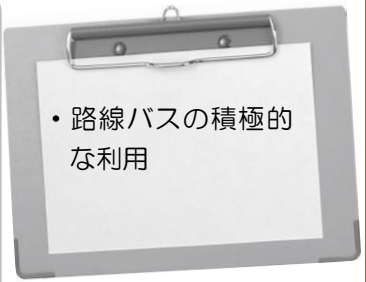
「交通の利便性が向上したまちづくり」では、バスの利用促進や道路網の整備について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1 バスの 利用促進

- 路線維持のための運行事業者に対する補助
- バスの運行時刻の周知
- フリー乗降区間の拡大
- コミュニティバス、小型バスの運行
- 市内主要地を結ぶシャトルバスの運行
バス路線の維持のための補助や利用状況に合わせた運行形態等の対応が必要です。また、利用者を増やすための周知や利便性向上の取組み等も必要です。
- 免許証返納者のバス利用促進
高齢者の運転免許証返納者へ、バス回数券を配るなどの対策が必要です。

- 
- 路線バスの積極的な利用

テーマ2 道路網 の整備

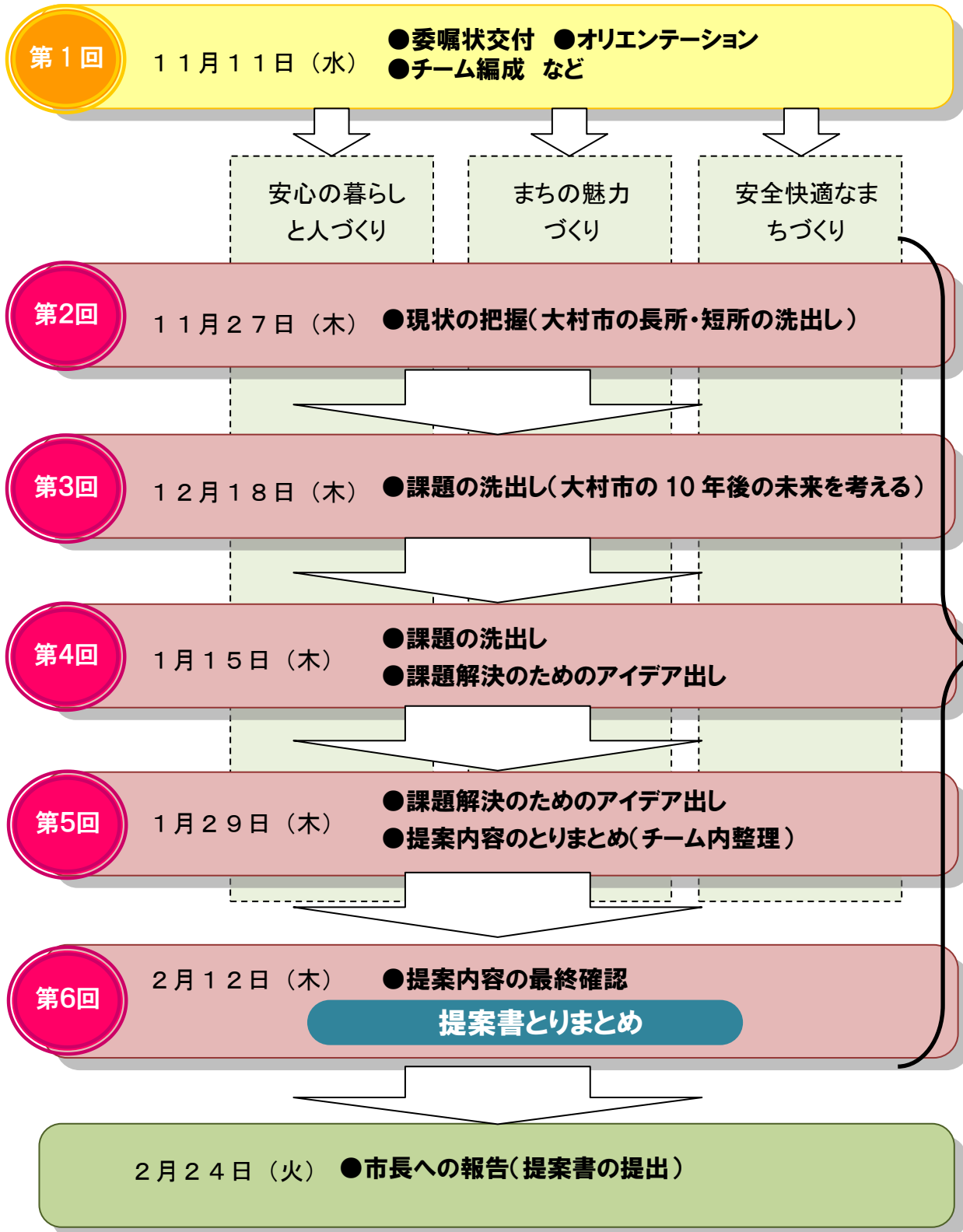
- 空港への代替道路の整備
- 道路の拡幅
災害時に道路が寸断される場合を想定し、主要地点を結ぶ道路は、複数のルートの確保が必要です。

(1) 第5次大村市総合計画策定市民会議 委員名簿

氏名	グループ名
林田 啓輔 (座長)	安心の暮らしと人づくり
田崎 裕隆 (グループリーダー)	
矢野 武志	
井上 まや子	
中山 奈緒	
石川 智子	
大石 優佳	
糴 穂隆 (グループリーダー)	まちの魅力づくり
加固 治男	
松平 弘明	
山脇 茜	
山脇 栞	
村林 千春 (グループリーダー)	安全快適なまちづくり
友田 達也	
秋寄 喜多郎	
伊木 康二	
郡 シマ	
尾寄 君代	
森 安奈	

(2) 策定のながれ

市民会議での話し合いは平成26年11月11日(水)に第1回を開催して以来、合計6回の会議を開催しました。2回目からは3つのチームに分かれて、チームリーダーを中心に、ワークショップ形式で課題整理から具体的な改善策の検討を行いました。



(3)「市民会議」の開催概要

第1回 開催概要

- 日 時 平成26年11月11日(火) 19:00~21:00
- 会 場 コミセン(中央公民館) 第1会議室
- 出 席 者 18名
- プログラム
 - ・委嘱状交付
 - ・市長挨拶
 - ・自己紹介
 - ・座長の選出
 - ・市民会議オリエンテーション
 - ①総合計画、市民会議について(総合計画とは。市民会議の目的・運営方法)
 - ②大村市の現況説明
 - ③会議のグループ編成、リーダーの選出
 - ・今後のスケジュールについて
- 開催概要
 - ・事務局より、事務局の紹介、総合計画の概要や市民会議の役割についての説明、大村市の現況について説明
 - ・話合いのため3つのテーマ「①安心の暮らしと人づくり」、「②まちの魅力づくり」と「③安全快適なまちづくり」に分かれてグループ編成を行い、グループごとにリーダーを選出

第2回 開催概要

- 日 時 平成26年11月27日（木）19：00～21：00
- 会 場 大村市役所 大会議室
- 出 席 者 18名
- プログラム
 - ・前回の振り返り
 - ・総合計画の進捗状況・市民アンケートについての説明
 - ・ワークショップ
 - ・今後のスケジュールについて
- 開催概要
 - ・前回会議の振り返り
 - ・第4次総合計画の進捗状況、市民アンケート調査の集計結果について説明
 - ・グループに分かれて、大村市の「良いところ」「悪いところ」のベスト・ワースト3についてとりまとめ
 - ・グループごとに発表

第3回 開催概要

- 日 時 平成26年12月18日（木）19：00～21：00
- 会 場 大村市役所 大会議室
- 出 席 者 15名
- プログラム
 - ・前回会議の振り返り
 - ・ワークショップ
 - ・今後のスケジュールについて
- 開催概要
 - ・前回の会議でまとめた大村市の「良いところ」「悪いところ」ベスト3・ワースト3をもとに、大村市の「10年後の未来」についてグループで話し合い、またそれを実現するための課題について検討

第4回 開催概要

- 日 時 平成27年1月15日（木）19：00～21：00
- 会 場 コミセン（中央公民館） 大会議室
- 出 席 者 13名
- プログラム
 - ・前回の振り返り
 - ・ワークショップ
 - ・今後のスケジュールについて
- 開催概要
 - ・前回に引き続き大村市の「10年後の未来」について話し合い、それを実現するための課題について協議
 - ・出された課題を解決するための取組みについて協議

第5回 開催概要

- 日 時 平成27年1月29日（木）19：00～21：00
- 会 場 大村市役所 大会議室
- 出 席 者 13名
- プログラム
 - ・前回の振り返り
 - ・ワークショップ
- 開催概要
 - ・前回に引き続き大村市の「10年後の未来」について話し合い、それを実現するための課題について協議
 - ・出された課題を解決するための取組みについて協議

第6回 開催概要

- 日 時 平成27年2月12日（木）19：00～21：00
- 会 場 コミセン（中央公民館） 第3会議室
- 出 席 者 13名
- プログラム
 - ・ワークショップ
- 開催概要
 - ・「市民会議提言書（案）」について、各グループで提言内容について最終確認。